

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2025年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第13回講義

「我が国の科学技術・イノベーション政策-現状と今後-」

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局統括官

柿田 恭良 氏

1996年から5年毎に策定される「科学技術・イノベーション基本計画」がスタートして30年。これまでの歩みを振り返るとともに、特に我が国の研究力低下の問題に関して、いくつかの視点から論じます。また、博士人材、研究大学の強化、研究環境の国際化などに関する最新の政府の取り組みや、国家戦略を担う国立研究開発法人の取り組み、さらに、現在検討中の科学技術・イノベーション基本計画(第7期)策定に向けた論点を紹介します。

日時: 7月11日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法:

オープンホールによる対面授業

柿田 恭良 先生

京都府出身。北海道大学工学部卒業。

平成2年科学技術庁入庁。純国産ロケットH-2 初号機打ち上げなど宇宙開発政策等に従事した後、科学技術振興に関する基本的な計画である科学技術基本計画(第4期)の策定を担当。また、カナダ日本大使館一等書記官、科学技術政策担当大臣秘書官、民間企業出向(日立製作所)等も経験。

文部科学省大臣官房総務課長等を経て、令和4年に科学技術・学術政策局長。

令和6年7月より現職。博士(学術)

担当:工学系教育研究センター 小崎 完教授